



KATANO ORIHIME University

交野おりひめ大学

(一般社団法人交野おりひめ未来研究所)

〈学科紹介〉

一人じゃできないことを、10人で、50人で、100人で

- そば学科 ● おさげ学科 ● きかく学科 ● てがみ学科 ● 里のしぜん学科
- みんなdeあーと学科 〈学科以外の活動〉 ● 総合講座 ● 酒づくりの会
- かたのキャンパス ● クラフトビール部

◇学長 羽石寛寿 ◇運営コーディネーター 井上哲也



フェイスブック



ホームページ

交野おりひめ大学通信 令和3年2月号

大阪府が新型コロナウイルスの「緊急事態措置を実施すべき区域」に指定されました。これを受け交野おりひめ大学では、室内でのワークショップや飲食を伴うミーティングを自粛しています。一刻も早くコロナウイルスが終息し、以前のような活動を再開出来る日を心待ちにしています。

【酒づくりの会】とんどをおこないました！

コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、屋外での活動は密な状態が生じないよう配慮しながら続けています。そんななか、酒米田で新春の行事であるとんどが行われました。

とんどは、小正月に日本全国で広くみられる火祭りの行事で、歳徳神を祭って行なわれる神事の一つ。竹を主材料に、円錐形や四方形に荒縄で組み足元をわらで囲みます。中心に古いお札やしめ飾りを一緒に設置し、焼き上げるものです。

とんどの材料の竹や荒縄は、前日までに自分たちで調達、朝から組み上げました。竹を藁なわでくくることなど普段することもなく、すべる竹を緩まないよう縛るのは悪戦苦闘の連続！

点火前には、会員代表がにわか神主になり、今年の酒米の豊作とわれわれの酒米で醸した百天満天が美味しく醸造されるように、そして皆の健康と酒米づくりの無事故など、さまざまな皆の願いを込め祝詞を上げていただきました。

とんどは火をつけた後、頃合を見計らってその年の恵方に倒し年神様に奉納するそうで、無事に今年の恵方である南南東にそっと倒されました。

火が収まってからは、会員が持ち寄ったサツマイモで焼きいも大会を。やはりたき火で焼いたサツマイモの味は格別♪ 会員は、普段出来ない焚火を囲みながら、今年の酒米づくりに決意をあらたにするのでした。



かたのキャンパス 2021年3月末開催予定 Coming Soon！乞うご期待！